



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月2日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7885 URL <https://www.takano-net.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫 TEL 0265-85-3150
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,778	△13.8	△167	—	△148	—	△116	—
2024年3月期第1四半期	5,540	20.9	△59	—	15	△55.5	△16	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △82百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 77百万円 (△36.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△7.68	—
2024年3月期第1四半期	△1.09	—

(注) 2024年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	38,112	31,146	81.7	2,046.19
2024年3月期	39,679	31,533	79.5	2,071.60

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 31,146百万円 2024年3月期 31,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,200	△11.8	△480	—	△400	—	△250	—	△16.42
通期	24,000	△4.7	420	△52.3	550	△46.3	550	△8.5	36.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	15,721,000株	2024年3月期	15,721,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	499,420株	2024年3月期	499,420株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	15,221,580株	2024年3月期1Q	15,221,580株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績の等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年6月30日）におけるわが国経済は、設備投資に持ち直しの動きがみられるなど景気は緩やかな回復基調にある一方、円安を背景とした原材料価格やエネルギー価格の高騰、ウクライナや中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりなど先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において当社グループでは、中長期的には成長が期待される半導体関連向け製品の開発および販売強化に努めるとともに、当社グループの主力事業の一つであるオフィス家具事業においては、新しいオフィスのあり方に対応した製品分野の事業展開に注力してまいりました。

主力事業の概況につきましては、住生活関連機器事業のオフィス家具製品の需要が堅調に推移した一方、検査計測機器事業のFPD向け検査装置および産業機器事業の半導体関連向け電磁アクチュエータの販売が低調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,778百万円で、前年同四半期比762百万円、13.8%の減収となりました。利益面につきましては、固定費の圧縮には努めたものの、減収にともなう粗利益額の減少等により、営業損失167百万円（前年同四半期は営業損失59百万円）、経常損失148百万円（前年同四半期は経常利益15百万円）となりました。これに法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は116百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりです。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	2,359	2,552	8.1%	△177	△60	－%
検査計測機器	1,842	880	△52.2%	△17	△177	－%
産業機器	730	658	△9.9%	106	0	△99.4%
エクステリア	227	332	46.2%	1	50	3,730.7%
機械・工具	379	354	△6.5%	14	23	67.1%
報告セグメント計	5,540	4,778	△13.8%	△72	△163	－%
セグメント間取引消去	－	－	－%	13	△4	－%
合計	5,540	4,778	△13.8%	△59	△167	－%

(住生活関連機器)

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司および株式会社ユーキ・トレーディングで構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子、臨床検査薬等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、働き方の変化に対応した新たなオフィスの価値を創造するオフィス家具の開発・生産に注力してまいりました。

この結果、オフィス用椅子などのオフィス家具製品の販売が増加したこと等により、売上高は2,552百万円で前年同四半期比192百万円、8.1%の増収となりました。一方、利益面では増収にともなう粗利益額の増加により、赤字幅が縮小したものの、セグメント損失60百万円（前年同四半期はセグメント損失177百万円）となりました。

(検査計測機器)

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶や半導体・高機能フィルム用の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、設備投資需要の増加が期待される半導体関連検査装置や電池部材向け検査装置の開発、販売に注力してまいりました。

しかしながら、主にFPD向け検査装置の販売が減少したことにより、売上高は880百万円で前年同四半期比962百万円、52.2%の減収となりました。利益面では、減収にともなう粗利益額の減少等により、セグメント損失177百万円（前年同四半期はセグメント損失17百万円）となりました。

(産業機器)

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司（鷹野電子（深圳）有限公司含む）およびTakano of America Inc. で構成され、主に電磁アクチュエータならびにユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、中長期的には堅調な需要が期待される半導体関連向け電磁アクチュエータの販売拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、半導体関連向け製品の販売が減少したことにより、売上高は658百万円で前年同四半期比71百万円、9.9%の減収となりました。利益面では、固定費の圧縮には努めたものの、減収にともなう粗利益額の減少等により、セグメント利益は0百万円（前年同四半期比105百万円、99.4%の減益）となりました。

(エクステリア)

当セグメントは、当社が主にオーニング、パラソル、跳ね上げ式門扉、その他ガーデンエクステリア製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、集客施設におけるオーニング等の受注獲得に向けた広告宣伝活動および販売活動に注力するとともに、大阪・関西万博関連施設向け需要の取り込みに向け、営業体制の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は332百万円で前年同四半期比105百万円、46.2%の増収となりました。利益面では、増収にともなう粗利益額の増加等により、セグメント利益は50百万円（前年同四半期比49百万円、3,730.7%の増益）となりました。

(機械・工具)

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業です。

当セグメントにつきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の需要掘り起こしに注力してまいりました。しかしながら、売上高は354百万円で前年同四半期比24百万円、6.5%の減収となりました。一方、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比9百万円、67.1%の増益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末と比較し、1,518百万円減少の24,017百万円となりました。これは主に、売掛代金の回収が進んだこと等により現金及び預金が728百万円、商品及び製品が187百万円、仕掛品が130百万円それぞれ増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が2,626百万円減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は前連結会計年度末と比較し、47百万円減少の14,095百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が41百万円増加した一方、減価償却費の計上等により有形固定資産合計が55百万円、無形固定資産合計が15百万円減少したこと等によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は38,112百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,566百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末と比較し、1,152百万円減少の6,041百万円となりました。これは主に、検査計測装置の大口物件の納入により契約負債が171百万円増加した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が463百万円、未払法人税等が309百万円、当四半期中の賞与の支給により賞与引当金が375百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は6,966百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,179百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比較し、386百万円減少の31,146百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が44百万円増加した一方、利益剰余金が親会社による配当金の支払い等により421百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.5%から81.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、現時点で、2024年5月10日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,758,989	9,487,764
受取手形、売掛金及び契約資産	10,563,104	7,936,295
有価証券	200,000	200,000
商品及び製品	945,400	1,132,780
仕掛品	3,178,734	3,308,935
原材料及び貯蔵品	1,744,603	1,801,192
その他	145,663	150,819
流動資産合計	25,536,495	24,017,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,090,902	3,019,128
機械装置及び運搬具（純額）	963,116	930,524
土地	4,236,283	4,236,283
その他（純額）	760,975	809,390
有形固定資産合計	9,051,278	8,995,327
無形固定資産		
のれん	115,944	108,698
その他	325,072	316,740
無形固定資産合計	441,017	425,438
投資その他の資産		
投資有価証券	3,579,633	3,562,590
その他	1,078,181	1,118,837
貸倒引当金	△7,001	△7,001
投資その他の資産合計	4,650,813	4,674,425
固定資産合計	14,143,109	14,095,192
資産合計	39,679,605	38,112,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,423,738	1,147,925
電子記録債務	3,001,142	2,813,615
未払法人税等	321,976	12,496
契約負債	516,873	688,745
賞与引当金	535,452	160,201
製品保証引当金	12,937	10,575
その他	1,381,069	1,207,519
流動負債合計	7,193,190	6,041,079
固定負債		
長期借入金	138,500	126,000
退職給付に係る負債	514,375	518,525
資産除去債務	4,677	4,687
その他	295,855	276,391
固定負債合計	953,408	925,604
負債合計	8,146,599	6,966,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,360,246	2,360,246
利益剰余金	26,252,484	25,831,154
自己株式	△259,302	△259,302
株主資本合計	30,369,328	29,947,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	904,198	895,476
為替換算調整勘定	243,454	287,645
退職給付に係る調整累計額	16,024	15,176
その他の包括利益累計額合計	1,163,677	1,198,298
純資産合計	31,533,005	31,146,296
負債純資産合計	39,679,605	38,112,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,540,382	4,778,316
売上原価	4,338,354	3,763,370
売上総利益	1,202,028	1,014,945
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	364,903	380,358
賞与引当金繰入額	69,212	63,376
退職給付費用	15,605	17,879
研究開発費	164,052	158,220
その他	647,359	562,639
販売費及び一般管理費合計	1,261,134	1,182,473
営業損失(△)	△59,106	△167,528
営業外収益		
受取利息	4,078	4,279
受取配当金	25,103	22,499
為替差益	10,948	—
固定資産売却益	16,600	—
その他	20,323	3,744
営業外収益合計	77,053	30,523
営業外費用		
支払利息	539	286
固定資産除却損	21	1,655
コミットメントフィー	1,682	—
為替差損	—	9,233
その他	6	193
営業外費用合計	2,250	11,369
経常利益又は経常損失(△)	15,696	△148,373
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	15,696	△148,373
法人税、住民税及び事業税	17,262	10,465
法人税等調整額	14,992	△41,941
法人税等合計	32,254	△31,475
四半期純損失(△)	△16,558	△116,898
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,558	△116,898

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△16,558	△116,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,946	△8,722
為替換算調整勘定	13,827	44,191
退職給付に係る調整額	△1,460	△847
その他の包括利益合計	94,313	34,620
四半期包括利益	77,755	△82,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,755	△82,277
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,316,763	1,842,864	730,588	227,574	379,373	5,497,163
その他の収益	43,219	—	—	—	—	43,219
外部顧客への売上高	2,359,982	1,842,864	730,588	227,574	379,373	5,540,382
セグメント間の内部売上高又は振替高	32,182	2,301	16,642	937	92,054	144,119
計	2,392,165	1,845,165	747,231	228,511	471,427	5,684,501
セグメント利益又は損失(△)	△177,203	△17,374	106,509	1,318	14,074	△72,675

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	△72,675
セグメント間取引消去	13,569
四半期連結損益計算書の営業損失	△59,106

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間の数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,506,367	880,145	658,591	332,673	354,828	4,732,606
その他の収益	45,709	—	—	—	—	45,709
外部顧客への売上高	2,552,076	880,145	658,591	332,673	354,828	4,778,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	30,724	2,187	14,698	4,857	141,819	194,287
計	2,582,800	882,333	673,290	337,531	496,648	4,972,603
セグメント利益又は損失(△)	△60,531	△177,340	645	50,509	23,520	△163,196

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	△163,196
セグメント間取引消去	△4,331
四半期連結損益計算書の営業損失	△167,528

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
減価償却費	226,706千円	208,054千円
のれんの償却額	7,246千円	7,246千円